

2023.春
第18号

福井循環器病院連携通信

(財)日本医療機能評価機構認定病院

日本医療機能評価機構
認定証:JC1453号

福井循環器病院は、(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることを証する認定証の交付(2017年10月6日)を受けています。

理念

私たちは いついかなる時も自分たちの持てる力を 充分に発揮し最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み患者さんに豊かな人生を 提供いたします

ご挨拶

最近の医療の大きな流れの中に「低侵襲化」というテーマがあります。「安心・安全」という大前提の下でいかに患者さんにとっての負担を減らしていくかということです。当院でもそれぞれの患者さんの状況を踏まえて、患者さんとともにベストな治療方針を考えていこうと取り組んでいます。

2016年より導入した経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は、約250例となり、最近は局麻下で行うケースが増えています。また2022年11月僧帽弁に対するカテーテル治療(Mitraclip®:経皮的僧帽弁接合不全修復術)を開始いたしました。術中経食道エコーにて重度僧帽弁逆流の劇的な改善を確認でき、薬物治療抵抗性心不全軽快退院につなげるはある種感動ものであります。

心臓血管外科では2019年に肋間小開胸アプローチによる胸腔鏡下心臓弁膜症手術を導入し70例を超える症例に適用し、対象疾患も拡大しています。従来手術に比べ、小さな切開ですむことはもちろんですが輸血量も減少するなど患者さんにもたらされる福音は大きいものと思われます。

副院長 村上 達明



2020年より医療の現場では新型コロナウィルス感染症の対応に追われ、スタッフの疲弊や診療の支援も発生しています。その中にあって循環器疾患は緊急症例も多く、専門診療を維持継続していくことが我々の使命であると心得ています。また我々は2016年より感染対策向上加算1を取得し感染制御に真摯に取り組み、コロナ禍においても院内および地域の感染対策につとめました。2022年からは外来感染対策も法制化され連携施設により一層お世話になっている状況であります。5月8日から新型コロナウィルス感染症5類感染症に移行することになり新たな困難が懸念されますが引き続き地域の感染制御に貢献してまいります。今後、岸田首相が訴える「異次元の少子高齢化社会」がどのような形で進んでいくのか、またそれに伴う医療提供体制がどのようにしていくか、不透明な状況が続くと思われますが、県内唯一の循環器疾患専門病院としての使命をもって、皆様方と協力しながらよりよい明日の福井県の地域医療に取り組んでいきたいと考えていますので、今後とも福井循環器病院に温かい理解ご支援をよろしくお願いいたします。

福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00

土曜 8:30~13:00

TEL:0776-54-5761(直通)

FAX:0776-54-5977(専用)

E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは
下記番号までお願い致します
TEL:0776-54-5660(代表)
FAX:0776-54-5977(時間外外来)

当院における冠動脈疾患に対する 低侵襲冠動脈バイパス術の試み

福井循環器病院心臓血管外科の樺山紀幸と申します。昨年1月より当院に赴任いたしました。主に心臓弁膜症、冠動脈疾患、大動脈瘤などに対する手術治療に従事しております。



心臓血管外科
部長
樺山 紀幸

狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患に対する治療として、胸を切らずに治療を行う経皮的冠動脈形成術(PCI)は患者様の体への負担が少ない治療法ですが、より重症例、複雑病変においては、胸を切って行う冠動脈バイパス術(CABG)の方が長期的には良い選択である場合があります。特に前下行枝病変に対する左内胸動脈の吻合(LITA-LAD)の20年開存率は95%以上であり、非常に長期開存率の良い治療法です。しかし、通常CABGを行う際は、胸の真ん中を縦に30cm程度切る必要があり、患者様の負担が比較的大きい治療法です。(Figure. 1)

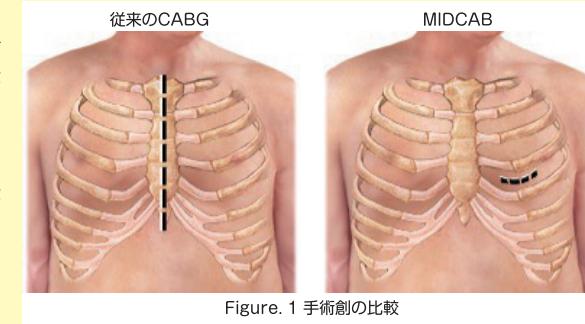


Figure. 1 手術創の比較

当院ではCABGにおいて、LITA-LAD吻合(Figure. 2)であれば、左肋間小開胸アプローチによる低侵襲の冠動脈バイパス術(MIDCAB)を行うえるようになりました。この手術では、傷の大きさは8cm程度で済み、骨を切る必要もないため、出血量や輸血量がより少くなります。また、傷の位置が左側胸部になることで傷痕が目立ちにくく、整容面でも優れた方法です。(Figure. 3)

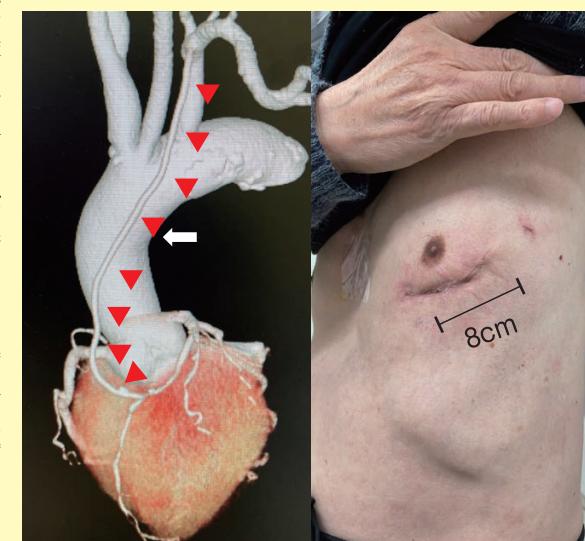


Figure. 2
MIDCAB術後
冠動脈CT画像
(LITA-LADの開存)

さらに多枝病変に対しても前下行枝病変にはMIDCABを行い、残りの病変に対してはPCIを行うハイブリッド治療を積極的に行っており、低侵襲かつ長期成績にも優れた治療法であると考えております。このような患者様がおられましたら是非当院へご紹介いただきますよう、よろしくお願い致します。

Figure. 3
術後1ヶ月
実際の創部

心不全チーム会の活動について

福井循環器病院で加療する心不全をもつ患者さんの健康アウトカム向上と多職種連携による効果的介入、心不全ケア・職員教育で主導する人材の育成を目的として2019年7月にチーム会が発足されました。また、2021年12月からは病棟スタッフの人材育成も兼ねて多職種介入が必要な患者さんに対し、チーム会が定期的に病棟をラウンドし現場の支援活動を行っています。

◆構成委員

循環器内科医、心臓血管外科医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士または作業療法士
医療ソーシャルワーカー、医事課事務、当院訪問看護師

◆活動内容

- 1.定期的な心不全ラウンドの実施
- 2.退院困難、再入院を繰り返している難治性心不全患者さんへの多職種で支援
- 3.心不全療養指導についての検討

◆今後について

心不全チームで関わった患者さんからは、「たくさん的人が自分のことを気にかけてくれて嬉しい、療養中の励みになった。」という声も聞かれています。そして、自宅での療養期間が長くなり、再入院する回数が減るという結果も出てます。心不全患者はさらに増加することが予測されます。一人でも多くの患者様がQOLを維持しながら自宅、地域で療養生活が送り、その人らしい生活が送れるように、多職種で話し合い、協働しサポートしていきたいと思います。



看護部次長兼
救命センター師長
桶谷 一枝

◆チーム会



◆チーム会メンバー



心不全療養指導士の紹介



患者さんを知り、
心に寄り添った
関わりと服薬説
明を心がけてい
ます。



外来看護師とし
て、通院中の心不
全患者さんの指
導を行っていき
ます。



少しでもセルフ
ケアを手伝える
ように努力して
いきたいです！

薬剤・栄養グループマネージャー
薬剤師 徳村 博子

外来主任
看護師 三田村 亜希奈



地域開放学習会予定

本年も6月より会場参加とweb配信にて学習会を予定しており、4月末までにご案内いたします。当院ホームページからもお申し込みいただけます。

患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには次のような権利が保障されます。

1. 患者さんが、ひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。
2. 患者さんは、どなたでも平等かつ公平に、良質で高度な医療を継続して受ける権利があります。
3. 患者さんは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で充分に理解できるまで説明（インフォームドコンセント）と情報を受ける権利があります。
4. 患者さんは、説明と情報提供を受け、充分理解・納得された上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利、あるいは拒否する権利があります。
5. 患者さんは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
6. 患者さんは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
7. 患者さんは、病院内のプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

患者さんには、良質で安全かつ効率的な医療の提供を受けて頂くために次のことをお願いいたします。

- ◎ご自身の健康に対する正しい情報の提供と医療への積極的なご参加
- ◎他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたさないためのご協力
- ◎療養上、必要な制約を受けることへのご理解

地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血管センター

F 福井循環器病院



〒910-0833 福井市新保2丁目228番地
TEL.0776-54-5660(代)

●ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>
●Eメール heart-hospital@fcvc.or.jp

診療案内

診療科目

心臓血管外科、循環器内科、小児外科、麻酔科
外科、内科、呼吸器内科、内分泌内科（糖尿病）
小児科（小児循環器科）、眼科、放射線科
脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科
肝臓・消化器内科、消化器外科

診療指定

- ・保険医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・労災保険二次検診等給付医療機関
- ・生活保護法指定支援医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・障害者自立支援法による指定自立支援医療機関
- ・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・地域医療支援病院

その他

人間ドック・訪問看護・居宅介護支援事業

保険診療届出事項

（基本診療料の施設基準）

- 急性期一般入院料1
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1(50対1)
- 25対1 急性期看護補助体制加算
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 入院支援加算1
- 特定集中治療室管理料3
- データ提出加算2
- 呼吸器ケアチーム加算
- 入院食事療養(I)
- 開放型病院共同指導料

施設資格（認定施設）

- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 埋込型補助人工心臓実施施設
- 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設

